



平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年1月26日

上場会社名 日本システムウエア株式会社
 コード番号 9739 URL <http://www.nsw.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 青木 正
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員専務 (氏名) 桑原 公生
 四半期報告書提出予定日 平成24年2月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東

TEL 03-3770-1111

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	17,355	△3.1	557	46.6	562	51.1	189	△39.1
23年3月期第3四半期	17,908	△0.4	380	—	372	—	310	—

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 184百万円 (△39.3%) 23年3月期第3四半期 303百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	12.69	—
23年3月期第3四半期	20.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	18,952	11,683	61.6
23年3月期	19,898	11,722	58.8

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 11,667百万円 23年3月期 11,709百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
24年3月期	—	7.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	7.50	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,000	0.4	820	△0.7	800	△2.4	450	△20.4	30.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	14,900,000 株	23年3月期	14,900,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	192 株	23年3月期	192 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	14,899,808 株	23年3月期3Q	14,899,812 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により予想数値が異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる仮定及び業績予想に関する注記事項等につきましては、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご参考ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報等	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(7) 重要な後発事象	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災による影響からの緩やかな景気回復が期待される一方で、欧州の債務危機やタイ国の洪水被害の影響、歴史的な円高の進行等により、先行きが不透明な状況が続きました。

情報サービス産業界におきましても、国内景気の低迷を背景に、開発案件の先送りや小型化など、顧客企業のIT投資に対する抑制傾向が続きました。また、クラウドサービスの利用拡大やスマートフォンの普及推進などに伴い、各種のサービス拡充が進みました。

このような状況下、当社グループは、「開発集団からサービス提供集団へ」「高収益企業グループへ」「新たな価値を創出する企業グループへ」をビジョンに掲げた中期経営計画の下、利益確保および新たな収益源の確立に向けた施策にグループ一丸となって取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間は、既存顧客の深耕と新規顧客の開拓により受注確保に努めましたが、前年度の大型案件の反動により、若干ながら減収となりました。また、プロジェクトマネジメント強化に引き続き注力し、着実な利益確保を図りました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、受注高は183億46百万円（前年同期比4.9%増）、売上高は173億55百万円（同3.1%減）、営業利益は5億57百万円（同46.6%増）、経常利益は5億62百万円（同51.1%増）、四半期純利益は1億89百万円（同39.1%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間の報告セグメント別概況は、次のとおりであります。

<ITソリューション>

ソリューション事業においては、金融・保険業向けの需要が損保系企業のシステム統合案件等により堅調に推移しました。その一方で、製造業向けが顧客の投資抑制傾向から、卸売・小売業、サービス業向けが前年同期の大型案件の反動から、それぞれ減少しました。また、運用系事業においては顧客の内製化傾向により、厳しい状況が続きました。このような状況下、プロジェクトマネジメントの強化など生産性向上に努めた結果、受注高は115億97百万円（前年同期比3.2%増）、売上高は110億82百万円（同5.2%減）、営業利益は2億62百万円（前年同期は26百万円の損失）となりました。

<プロダクトソリューション>

組込みソフトウェア開発事業においては、フィーチャーフォンの開発が減少しましたが、通信装置向けの開発需要が好調に推移しました。また、デバイス開発事業においては、顧客の内製化の影響を受けて需要が減少しましたが、案件確保に注力しました。一方、利益面においては、案件の小型化や既存顧客の内製化傾向が進み、厳しい状況が続きました。これらの結果、受注高は67億49百万円（前年同期比8.0%増）、売上高は62億72百万円（同0.9%増）、営業利益は2億94百万円（同27.5%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、189億52百万円となり、前連結会計年度末と比べ9億46百万円減少いたしました。主な要因としては、仕掛品の増加(6億42百万円)があったものの、現金及び預金の減少(5億56百万円)及び受取手形及び売掛金の減少(9億36百万円)などがあったことによるものです。

総負債は、72億68百万円となり、前連結会計年度末と比べ9億7百万円減少いたしました。主な要因としては、借入金の減少(8億円)などによるものです。

純資産は、116億83百万円となり、前連結会計年度末と比べ39百万円減少いたしました。主な要因としては、四半期純利益(1億89百万円)の計上があったものの、剰余金の配当(2億23百万円)などがあったことによるものです。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、借入金の返済及び配当金の支払などの支出を営業活動によるキャッシュ・フローより賄いきれず、前連結会計年度末と比べ5億56百万円減少し、29億44百万円となりました。

当第3四半期連結累計期間の活動別概況は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローの増加は、6億73百万円(前年同期比3億36百万円の収入の減少)となりました。主な要因としては、税金等調整前四半期純利益5億1百万円、運転収支の増加1億79百万円などによるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローの減少は、1億42百万円(前年同期比49百万円の支出の増加)となりました。主な要因としては、有形固定資産の取得1億32百万円などによるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローの減少は、10億87百万円(前年同期比2億円の支出の増加)となりました。主な要因としては、借入金の返済8億円、配当金の支払1億95百万円などによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の国内景気につきましては、海外景気の動向や円高の影響等により依然として先行き不透明な状況にあります。また、情報サービス産業界におきましては、顧客企業のIT投資抑制傾向や製品・サービスの単価下落が続いております。そのため、当第3四半期連結累計期間において利益面で期初計画を上回る結果となりましたが、通期業績につきましては平成23年5月11日に発表した予想数値から変更しておりません。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,500,640	2,944,364
受取手形及び売掛金	4,890,612	3,954,078
商品	117,289	131,345
仕掛品	379,796	1,022,254
貯蔵品	2,003	697
繰延税金資産	451,122	203,554
その他	209,108	575,557
貸倒引当金	△5,791	△6,268
流動資産合計	9,544,781	8,825,584
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,842,053	3,662,111
土地	4,114,051	4,114,051
その他（純額）	168,055	203,667
有形固定資産合計	8,124,161	7,979,830
無形固定資産	233,185	219,440
投資その他の資産		
投資有価証券	80,616	67,198
敷金及び保証金	608,412	606,597
繰延税金資産	575,400	544,209
その他	754,881	728,635
貸倒引当金	△22,528	△19,321
投資その他の資産合計	1,996,782	1,927,319
固定資産合計	10,354,129	10,126,590
資産合計	19,898,911	18,952,175

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,212,350	1,193,751
短期借入金	3,100,000	2,300,000
リース債務	122,143	124,975
未払法人税等	191,125	17,725
賞与引当金	670,318	362,223
工事損失引当金	—	25,505
製品保証引当金	30,000	—
その他	929,260	1,318,181
流動負債合計	6,255,198	5,342,362
固定負債		
リース債務	340,883	246,794
退職給付引当金	1,034,288	1,128,474
役員退職慰労引当金	314,166	314,166
事業整理損失引当金	209,930	209,930
環境対策引当金	10,230	15,522
資産除去債務	11,571	11,733
固定負債合計	1,921,069	1,926,620
負債合計	8,176,268	7,268,982
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,538,300	2,538,300
資本剰余金	3,047,780	3,047,780
利益剰余金	6,130,270	6,095,857
自己株式	△107	△107
株主資本合計	11,716,242	11,681,829
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,804	△11,572
為替換算調整勘定	△2,127	△2,697
その他の包括利益累計額合計	△6,932	△14,270
少数株主持分	13,332	15,634
純資産合計	11,722,642	11,683,192
負債純資産合計	19,898,911	18,952,175

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	17,908,824	17,355,042
売上原価	15,291,898	14,520,714
売上総利益	2,616,925	2,834,327
販売費及び一般管理費		
役員報酬	133,722	137,972
執行役員報酬	73,132	69,969
給料手当及び賞与	1,040,967	1,074,385
賞与引当金繰入額	27,326	29,308
退職給付費用	72,470	74,977
福利厚生費	165,322	169,631
通信交通費	92,457	99,245
業務委託費	102,476	112,372
賃借料	135,578	121,012
貸倒引当金繰入額	—	341
その他	393,366	387,863
販売費及び一般管理費合計	2,236,820	2,277,079
営業利益	380,105	557,247
営業外収益		
受取利息	34	38
受取配当金	835	455
受取手数料	6,709	6,330
保険配当金	2,377	5,505
その他	18,542	14,927
営業外収益合計	28,499	27,257
営業外費用		
支払利息	36,186	21,882
その他	368	488
営業外費用合計	36,555	22,371
経常利益	372,048	562,133
特別利益		
貸倒引当金戻入額	1,913	—
特別利益合計	1,913	—
特別損失		
固定資産除却損	4,603	3,750
投資有価証券評価損	—	2,850
特別退職金	—	53,751
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,910	—
特別損失合計	13,514	60,351
税金等調整前四半期純利益	360,448	501,782
法人税、住民税及び事業税	26,111	27,838
法人税等調整額	26,125	282,558
法人税等合計	52,236	310,397
少数株主損益調整前四半期純利益	308,211	191,385
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△2,130	2,301
四半期純利益	310,342	189,083

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	308,211	191,385
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△4,048	△6,767
為替換算調整勘定	△1,138	△570
その他の包括利益合計	△5,186	△7,338
四半期包括利益	303,025	184,047
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	305,156	181,745
少数株主に係る四半期包括利益	△2,130	2,301

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	360,448	501,782
減価償却費	320,343	314,867
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△19,186	△2,729
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△271,266	△308,095
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	△87,276	25,505
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	—	△30,000
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	108,764	94,185
その他の引当金の増減額 (△は減少)	—	5,292
受取利息及び受取配当金	△869	△494
支払利息	36,186	21,882
特別退職金	—	53,751
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	2,850
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	8,910	—
売上債権の増減額 (△は増加)	883,007	853,748
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△256,804	△655,208
仕入債務の増減額 (△は減少)	△311,394	△18,598
その他	312,567	46,617
小計	1,083,430	905,355
利息及び配当金の受取額	869	494
利息の支払額	△31,374	△23,227
特別退職金の支払額	—	△29,951
法人税等の支払額	△42,630	△178,979
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,010,295	673,691
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△108,253	△132,860
無形固定資産の取得による支出	△20,446	△21,926
その他	35,562	12,610
投資活動によるキャッシュ・フロー	△93,137	△142,176
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△600,000	△800,000
長期借入金の返済による支出	△60,000	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△88,145	△91,257
配当金の支払額	△138,257	△195,963
その他	△7	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△886,410	△1,087,220
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,138	△570
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	29,609	△556,276
現金及び現金同等物の期首残高	3,144,161	3,500,640
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,173,770	2,944,364

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	I T ソリューション	プロダクト ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	11,706,722	6,202,102	17,908,824
セグメント間の内部売上高 又は振替高	△16,662	16,662	—
計	11,690,059	6,218,764	17,908,824
セグメント利益又は 損失 (△)	△26,142	406,247	380,105

(注) セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	I T ソリューション	プロダクト ソリューション	
売上高			
外部顧客への売上高	11,035,203	6,319,838	17,355,042
セグメント間の内部売上高 又は振替高	47,329	△47,329	—
計	11,082,533	6,272,508	17,355,042
セグメント利益	262,561	294,685	557,247

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。